



第1177号
2010年9月12日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◆教役者レクイエム
9月15日(水) 10時半

主教座聖堂
説教 大畑喜道司祭

▽司祭今井寿道▽司祭根岸卯太郎▽伝道師小川英子▽執事堀正義▽司祭石黒千秋▽司祭巽芳三郎▽司祭菅田吉▽主教野瀬秀敏▽司祭今井直道▽司祭佐々木厚▽司祭伊東祐▽司祭リチャード・A・メリット▽宣教師メリー・L・セントジョン

◇堅信受領

8月1日 八王子復活教会

▽山崎庄司▽高山直美▽高山英理奈▽八島矩子▽水越かをり(八王子)

◆とこしえの平安

7月23日 小原 成介(77)

聖三二

今週・来週の予定

9月12日~25日

| | | | | | | |
|---------|---|---------|---|---------|--------------|---|
| 7月24日 | 佐々木容子(96) | 7月24日 | 勝田善一郎(86) | 7月24日 | 三光 | ▽浦安セミナーオ 横浜教区浦安伝道所主催キリスト教基礎講座。「聖書の伝説から創世記を理解する」講師 小林史明司祭九州教区。①天地創造物語から18日(土) 14時半。会場など詳細照会TEL 047(354)251 |
| 7月28日 | 下平 明子(53) | 7月31日 | 山下 朝子(85) | 7月28日 | 池袋 | 座。②同伝道所。次号に詳細。 |
| 8月8日 | 巽 美由紀(46) | 8月8日 | 巽 美由紀(46) | 8月8日 | 八王子 | ▽こどもにゆーす秋号(通巻第17号)、本日発行。 |
| 12(日) | 聖霊降臨後第16主日 | 12(日) | フェスティバル実行委員会 | 12(日) | 城南G | 協議会 |
| 14(火) | 銀座朝祷会 小平墓地委員会 常置委員会 | 14(火) | 城南G 牧師協議会 環状G 牧師協議会 | 14(火) | エルサレム教区協働委員会 | |
| 15(水) | 教役者レクイエム フェスティバル実行委員会 | 15(水) | 聖霊降臨後第17主日 外濠G 教会協議会 山手G 教会協議会 環状G 教会協議会 | 15(水) | 教区フェスティバル | |
| 16(木) | 城南G 牧師協議会 環状G 牧師協議会 | 16(木) | 正義と平和協議会運営委員会 | 16(木) | | |
| 17(金) | エルサレム教区協働委員会 | 17(金) | | 17(金) | | |
| 19(日) | 聖霊降臨後第17主日 外濠G 教会協議会 山手G 教会協議会 環状G 教会協議会 | 19(日) | | 19(日) | | |
| 20(月・休) | 教区フェスティバル | 20(月・休) | | 20(月・休) | | |
| 24(金) | 正義と平和協議会運営委員会 | 24(金) | | 24(金) | | |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

年に1度のささやかな楽しみとして、15年ほど前から味噌作りを続けています。作業するのは2月頃で、茹でたての大豆をつぶしたところに塩と麴を混ぜ、味噌玉にして容器に投げ込む作業をすると、カサカサした手がしっとりツルツルお肌になっていてビックリ。仕込みの最後に焼酎と塩で消毒し密封しますが、1年後に出来上がった味噌の表面は、いろいろなカビの蓋で覆われていてカラフル。材料も手順もほぼ同じはずなのに、出来上がった味噌の色や味が微妙に違うのも、これまた楽しいものです。

ところで、今年私が堅信を受けて30周年目で、ヨハネ教会の恒例行事として『堅信受領節目10年毎の祝』をしていた

《み手のなかで》

目に見えなくても

土屋 寛 子

いただきました。幼児洗礼でしたから、生後から今まで教会から離れずに過ごしてこられたことを、改めて感謝したいと思う機会となりました。「これはきっと、神様が聖霊を送ってください、私の周りの方々に働きかけてくれたのだろう」と素直に思えるようになったのは、アラフィフ世代に入った今だからでしょうか。

先ほどの麴の働きは顕微鏡で拡大すれば見えるのかもしれませんが、私は聖霊の働きも似ているように連想しています。「目には見えなくても、その働きは確かにある」。これから先も、主に倣って歩んでゆく道が続いているかと思うと、新たな出会いや出来事の手感でワクワク、ドキドキ…。まずは、常に主に感謝!

(浅草聖ヨハネ教会信徒)

信仰と生活委員会報告

(8月12日)

* 宣教主事、各委員会・教会グループ等の報告。

* 8月28日(土)開催「学びのデイキャンプ『裸足の宣教』の構成並びに役割分担を確定。

* COAと共催の中高校生夏期キャンプの実施報告と会計報告。

* その他 (次回は9月29日)

◇お二人の司祭誕生 4日

(土) 植田仁太郎教区主教司式、廣田勝一北関東教区主教説教で大森明彦執事・中村淳執事の司祭按手式が執り行われた。

新司祭のご挨拶は次号で…

◇2010フェスティバル「あつまれ！」 第2回連絡会が4日午後、教区会館で開かれ最終連絡・諸注意などがあった。日時、会

場、礼拝の詳細は既報の通りで、陪餐は10ヶ所で行うなど時間短縮への配慮がされた。こども達が持参する「みんなの顔」は、当日参加できない家族や友だちの顔を

描いて切り抜いた絵を礼拝堂入口で待っている係の人に渡すと、礼拝堂うしろのボードに貼られるなど説明も。礼拝後の出店・出展は57の教会・諸団体が参加、短大食堂も開店。3分オンステージには9グループが参加。15時にクローキングセレモニー。事務局から暑さ対策・体調管理は各自で。ゴミの始末に協力をと説明・要請があった。(事務局発行の詳細案内が12日に配布される予定)。

▽レクチャーコンサート『続くのちと限りあるいのち』 24日(金)17時15分、立教大学池袋・諸

聖徒礼拝堂。講師||上田亜樹子司祭、Or||崎山裕子、礼拝堂聖歌隊。無料。照会TEL03(3985)2786・同教会音楽研究所。

▽聖公会神学院《体験入学》

神学院で実際に勉強と生活を体験できる機会。10月6日(水)〜8日(金)、宿泊定員||男性4人、女性3人(申込順)。申込期限||24日(金)。費用・持物等照会TEL03(370)10575・同院事務局。

▽9月銀座朝禱会 14日・28日(火) 7時半、喫茶室ルノアール・ニュー銀座。お話未定。

▽9月西新の会 14日(火) 19時半||聖餐式(高橋頭司祭) 28日(火) 10時半||聖書の学び(加藤俊彦司祭) 会場||井草地域区民センター。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】56

沖縄週間／沖縄の旅

(伊江島に参加して)

十数年ぶりに「沖縄の旅」へ参加した。モノレールが設置されたりして、当然ながら大幅に景色は変化していた。が、沖縄の状況は、本土が「基地を拒否」している今、当時より厳しい状況に追い込まれていると思う。平和を願う時、軍事基地の存在がまず問われる。

本年度の沖縄週間「沖縄の旅」は、『命どう宝』と共に、キリストを生きるくをテーマに、伊江島が中心だった。そこがかつて闘われた土地闘争の徹底的非暴力の闘いの取り組みと、引き継ぐことの学びだった。

伊江島の唯一の山・城山(立

塔・タツチュウ)に登ると平坦な小さな島を一望に見渡せる。この小さな島の城山が、広島に原爆を落した飛行機の帰路の目印であったことや、この島でも激しい戦闘があり、艦砲射撃で多くの命が奪われ、集団での自害が強制されたことや、米軍の占領時に「島ぐるみの土地闘争」が展開され、その闘いの先頭に立った阿波根昌鴻(あはこんしようこう)さんの闘いは、目の前の景色からは感じられない。

阿波根さんの生き方を語り継いでおられる反戦平和資料館「ヌチドウタカラの家」館長の謝花悦子(じやはなえつこ)さんの語りに、以前お会いし、話を伺った時の阿波根さんの姿を思い起こした。米軍の兵士に「何

も手に持たないで座って話す、等」という5つの陳情規定を作り、「敵」も一人の人として向き合う話に感激したことが甦ってきた。その同じ場所では「土地闘争」を語ってくれた。沖縄で「敵意という隔ての中垣を取りこわし」(エフエソの信徒への手紙)の《実践》は、「敵を人として見ない私への警告であることを思い出させた。

静かで自然に充ちた伊江島への旅は、この島の出来事を「昔の話」にしている今、その歴史を見・話に耳を傾ける中で「平和」に向かうことの辛抱強さを学び、私たちが目を向ける「正義」を深く考えさせられた。

小金井聖公会信徒

鈴木 慰